

日本雪崩ネットワーク・トレーニングスクール

**雪崩業務従事者レベル1 & レベル2のプログラム構成要素**

トレーニングスクール・プログラムは、受講生が冬季アウトドアの現場において、雪崩安全対策に従事する人材として求められる水準の知識や技能等を有しているか、そしてまた、それを状況に合わせて適切かつ効果的に適応させることで、許容可能な範囲に雪崩リスクをマネジメント可能であるか、その能力を査定します。レベル1を受講する時点で、受講生は一般レクリエーション水準の知識や技能があることが前提です。レベル1とレベル2は、連続性のある全体設計されたプログラムであり、レベル2取得者を雪崩スキルある人材としています。

	Level 1	Level 2
<b>A 雪崩の形成</b>		
1 雪崩の形成に関わる積雪特性が説明できる	○	◎
2 雪崩の種類と「留意すべき雪崩」の特徴が説明できる	○	◎
3 雪崩の運動特性の説明ができる	○	◎
4 雪崩の始動に関わるメカニズムを説明できる	○	◎
5 発生しうる雪崩規模に関わる事項を説明できる	○	◎
<b>B 山岳積雪の特性</b>		
1 降雪現象に関する説明ができる	○	◎
2 雪の変態について説明ができる	○	◎
3 弱層形成について複数のプロセスを説明できる	○	◎
4 空間的多様性を生じさせる因子と影響について説明できる	○	◎
5 積雪データから「留意すべき雪崩」を推定できる	○	◎
<b>C 雪崩地形の識別・分析・評価</b>		
1 雪崩道の構成要素と特徴を説明できる	○	◎
2 地形図や画像などから雪崩地形が識別できる	○	◎
3 フィールドにて雪崩地形を識別し分析できる	○	◎
4 発生しうる雪崩と地形特性に基づく安全な移動ルートを説明できる	○	◎

5 発生しうる雪崩の規模・種類・頻度・発生条件を地形から分析し推定できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
6 雪崩リスクと業務目的を相互評価し、地形利用計画を作成できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<b>D 気象データの分析と記録</b>		
1 基礎的な気象概念が説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
2 標準化された指針に沿って定点とフィールドでの気象観測と記録が取れる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3 情報技術を利用し、気象データと予報を入手できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
4 雪崩ハザードの評価と予測に重要な気象データの特徴を説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
5 雪崩ハザードの評価と予測に利用する気象データを分析できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
6 目的に合った気象観測の定点およびフィールドの場所を選定できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<b>E 積雪データの分析と記録</b>		
1 標準化された指針に沿って積雪データの観察と記録が取れる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
2 積雪特性に合った積雪テストを選択し、その破壊の特徴を把握できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3 積雪データを視覚化し、その重要箇所を指摘できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
4 観察された積雪データの特徴や重要点を文章として要約できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
5 雪崩ハザードの評価と予測に重要な積雪データの特徴を説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
6 雪崩ハザードの評価と予測に利用する積雪データを分析できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
7 積雪の空間的多様性を分析し、雪崩ハザードの評価と予測に合った観察場所を選定できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<b>F 雪崩データの分析と記録</b>		
1 標準化された指針に沿って雪崩データの観察と記録が取れる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
2 雪崩の種類を分析し、発生要因について説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3 雪崩ハザードの評価と予測に重要な雪崩データの特徴を説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
4 雪崩ハザードの評価と予測に利用する雪崩データを分析できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
5 発生頻度の低い大規模雪崩のポテンシャルを評価できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
6 特定地形で発生頻度の低い大規模雪崩の活動パターンを評価できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<b>G 雪崩ハザードの評価と予測</b>		
1 雪崩ハザード・雪崩リスク・雪崩危険度の違いを説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

2 雪崩ハザードの評価と予測の概念と重要事項が説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3 雪崩ハザードの評価と予測で使用するデータの強さと重さを説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
4 標準化された雪崩ハザード評価と予測のプロセスを説明し、適応できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
5 データ採取のプロセスおよびデータ自体に起因する不確実性を説明できる		<input checked="" type="radio"/>
6 雪崩ハザードの評価と予測プロセスに含まれる不確実性の原因を説明できる		<input checked="" type="radio"/>
7 雪崩ハザードの評価と予測プロセスに含まれる不確実性への対処法を説明できる		<input checked="" type="radio"/>
8 中長期的な雪崩ハザードの傾向とそれが業務に与える影響を説明できる		<input checked="" type="radio"/>
<b>H 雪崩リスクの評価と対応</b>		
1 雪崩リスクの評価と対応に関する概念と重要事項が説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
2 予測された雪崩ハザードが人や施設に与える潜在的な影響を分析できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3 雪崩リスクへの対応に関わる基本戦略を説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
4 雪崩安全計画（ASP）を業務環境に適応できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
5 雪崩地形での行動に関わる準備と対応戦略を現場適応できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
6 状況認知に基づく適切なリスク低減の手法を現場適応できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
7 予測された雪崩リスクと業務上のリスク許容度を比較できる		<input checked="" type="radio"/>
8 予測された雪崩リスクに対応した業務計画を立案し、実行できる		<input checked="" type="radio"/>
9 雪崩リスクへの対応結果を評価し、関係者へ適切な説明ができる		<input checked="" type="radio"/>
10 雪崩リスクへの対応を継続的に改善するための戦略を説明できる		<input checked="" type="radio"/>
<b>I 雪崩リスク・コミュニケーション</b>		
1 良好なコミュニケーションが意思決定に効果を持つことを説明できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
2 雪崩ハザードや雪崩リスクを口頭・書類・視覚的な手法で伝達できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3 目標達成のためのチーム・コンセンサス会議に貢献できる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
4 目標達成のためのチーム・コンセンサス会議を主導できる		<input checked="" type="radio"/>
5 能動的傾聴、建設的見解、複合的な視点などの手法を会議で適応できる		<input checked="" type="radio"/>
6 業務計画や雪崩リスク対応で影響を受ける人へ、適切な情報伝達ができる		<input checked="" type="radio"/>
7 公衆に対して適切な表現で雪崩リスクを伝達できる		<input checked="" type="radio"/>

J 意思決定と人的要因		
1 意思決定に身体と精神の状態が大きな影響を与えることを説明できる		◎
2 思考スタイルが状況認知と意思決定に影響を与えることを説明できる		◎
3 意思決定のプロセスに生じるバイアスを認識し、対応戦略を適応できる		◎
4 ターゲットリスクと業務リスクバンドの関係を説明できる		◎
5 リスクを発見し解決に役立つチームワークの重要性を理解し適応できる		◎
6 意思決定に影響を与える業務因子の認識し、対応戦略を適応できる		◎
7 意思決定に影響を与える業界内の因子について説明できる		◎
8 不確実性のマネジメント戦略に基づく業務計画およびインシデントへの適応ができる		◎
K 雪崩インシデント		
1 雪崩捜索救助に関わる重要事項を説明できる	○	◎
2 雪崩インシデント発生時に緊急時対応計画（ERP）を適応できる	○	◎
3 雪崩インシデントを詳細フォームで報告できる	○	◎
4 一般の現場（レベル3）に遭遇した際、現場指揮者として活動できる*	○	◎
5 一般の現場（レベル4）に遭遇した際、現場指揮者として活動できる*		◎
L プロフェッショナリズムと継続的な能力開発		
1 プロフェッショナルとしての特徴と役割を説明できる	○	◎
2 雪崩業務従事者レベル1 修了者の実務範囲の限界を説明できる	○	◎
3 プロフェッショナルとして必要な継続的成長について説明できる	○	◎
4 個々の業務記録を残すことの重要性を理解し、実践できる	○	◎
5 雪崩業務従事者レベル2 修了者の実務範囲の限界を説明できる		◎
6 プロフェッショナルとしての特徴と役割を言動で示すことができる		◎
7 効果的なメンタリングと指導について説明できる		◎
8 個人としての専門能力開発と継続的な教育計画を説明できる		◎

\* 日本雪崩捜索救助協議会（AvSAR協議会）のインシデント区分による